

細胞検査士会 2023-2024 年度役員選挙実施要綱

細胞検査士会は役員選任に関する細則により、2023-2024 年度役員選挙を次のように実施する。

1. 選挙の対象と実施期間

【選出役員】

2023 年定時総会から 2025 年定時総会までを任期とする会長 1 名，副会長 2 名，幹事若干名

【選挙の概要】

- (1) 都道府県細胞検査士会代表者委員会を介し，各都道府県細胞検査士会の協力を得て，2023-2024 年度役員選挙管理委員会（選挙管理委員会）が実施
- (2) 幹事の選出，会長及び副会長の選出の 2 回に分けて実施

【選挙日程】

- (1) 選挙公示を 2022 年 9 月までに実施
- (2) 各都道府県細胞検査士会より選出された選挙人による幹事の選出を 2022 年 10 月に実施
- (3) 新たに選出された幹事の中より選挙人による会長及び副会長の選出を 2023 年 2 月までに実施
- (4) 事情により選挙管理委員会は実施期日を変更することがある。

2. 選挙管理委員会と開票立会人

【選挙管理委員会の設置】

役員選任に関する細則第 8 条により，選挙管理委員会を設置する。

【選挙管理委員会の位置付け】

選挙管理委員会は，委員会に関する細則に定める委員会とは異なる委員会として位置付ける。

【選挙管理委員会の構成と任期】

選挙管理委員会は，委員長 1 名，委員若干名で構成し，2023 年定時総会までの任期で会長が委嘱する。

【選挙管理委員会の任務】

- (1) 各都道府県細胞検査士会における選挙人の割り当て数の決定と選挙人名簿の作成
- (2) 被選挙人の募集・資格審査と被選挙人名簿の作成
- (3) 選挙日時・開票方法の細目の決定及び公示
- (4) 開票立会人の指名
- (5) 投票用紙の配布・回収・保管及び開票・集計作業
- (6) 投票資格の確認及び投票の有効・無効の審査

(7) 選挙結果の発表と異議の確認

(8) その他、選挙の円滑な実施に必要な実務

【選挙管理委員会構成員】

委員長：古谷津 純一

委員（地区）：佐渡 正敏（北海道）、二瓶 憲俊（東北）、中島 弘一（関東・甲信越）、
中島 研（東京）、米田 操（中部・東海）、林 裕司（近畿）、
石田 克成（中国・四国）、田中 小夜（九州）、新垣 善孝（沖縄）

【開票作業】

選挙管理委員会は、開票立会人を指名し、必要に応じて開票作業の補助員を置くことができる。

【開票立会人】

選挙管理委員会は、開票立会人を会員から公募することができる。開票立会人は、投票用紙の確認、開票作業の公正な実施の確認、無効票の審査結果の承認、開票結果の確認・承認を行い、監査報告書を作成する。

3. 幹事の選出方法

【選出定数】

選挙人（約 250 名）の投票により、幹事（30 から 40 名）を選出する。ただし、この中より 3 名は会長、副会長となる。

【選挙人（投票者）】

(1) 本法人正会員であること

(2) 選挙管理委員会は、2022 年 8 月 1 日時点の本法人正会員数にもとづいて、各都道府県細胞検査士会に選挙人数を比例配分で決定

(3) 各都道府県細胞検査士会代表者は、当該数の選挙人を決定し、選挙管理委員会に報告

(4) 次回役員選挙においては、本法人正会員である全ての会員を選挙人とする方法を検討する。

【被選挙人（候補者）】

選挙管理委員会の定める方法により各都道府県細胞検査士会より推薦を受けた者、または立候補を届け出た者のうち、選挙管理委員会で審査し、次の要件をすべて満たす者とする。

(1) 本法人正会員であること

(2) いずれかの都道府県細胞検査士会に所属し、かつ会費滞納のないこと

(3) 役員を解任されるなどの懲戒処分を過去に受けたことがないこと

(4) 役員選任に関する細則に反しないこと

(5) 選挙管理委員会構成員ではないこと

【投票期間】

幹事の選挙期間は、2022 年 9 月から 10 月までの間で、約 10 日間を投票期間として

選挙管理委員会が決定する。

【投票方法】

選挙管理委員会の指定する候補者 7 名連記式の投票用紙による郵便投票で行う。投票用紙の送付先、開票場所などの細目については選挙管理委員会が決定する。
次回役員選挙においては、Web による投票で実施する方法を検討する。

【無効票】

- (1) 被選挙人以外の者の氏名を記載したもの
- (2) 記載された被選挙人名を判別または特定できないもの
- (3) その他、選挙管理委員会の指定する方法に従わないもの

【当選者】

得票数の多い者から上位約 30 から 40 名を当選者とする。

【選挙結果の公示】

当選者確定後、細胞検査士会ホームページ（以下、HP）及び細胞検査士会報にて幹事当選者の氏名と得票数を選挙管理委員長名で公示する。また、2022 年秋の役員会にて当選者の氏名を報告する。

【異議の申し立て】

当選者の公示後約 5 日の間に選挙管理委員長宛の文書で受付け、その対応は選挙管理委員会決定する。

4. 会長及び副会長の選出方法

【選出定数】

選挙人の投票により、会長 1 名及び副会長 2 名を選出する。

【選挙人（投票者）】

先行する幹事選挙の選挙人及び新たに選出された幹事とする。ただし、重複は認めない。

【被選挙人（候補者）】

新たに選出された幹事の中より立候補した者又は推薦された者とし、立候補及び推薦の方法は選挙管理委員会が決定する。ただし、会長と副会長の両方の候補者となることはできない。また、それぞれの立候補者数が定数を超えない場合は、新たに選出された幹事のすべてを候補者とする。

【選挙期間】

会長及び副会長選挙は 2023 年 2 月までに行い、具体的な日時は選挙管理委員会が決定する。

【投票方法】

選挙管理委員会の指定する投票用紙にそれぞれの定数名の候補者氏名を記載し、郵便投票で行う。投票用紙の送付先、開票場所などの細目については選挙管理委員会が決定する。
次回役員選挙においては、Web による投票で実施する方法を検討する。

【無効票】

- (1) 被選挙人以外の者の氏名を記載したもの
- (2) 記載された被選挙人名を判別または特定できないもの
- (3) その他、選挙管理委員会の指定する方法に従わないもの

【当選者】

- (1) 会長の選出：最高得票者 1 名
- (2) 副会長の選出：得票数の上位 2 名

同数得票により当選者を確定できなかった場合は、これらの者を候補者として引き続き決戦投票を行い、得票数の多い者を(1)(2)の当選者とする。総投票数が選挙人総数の2/3に満たない場合には、後日あらためて再選挙を実施する。

【選挙結果の公示】

選者確定後、HPに当選者の氏名と得票数を選挙管理委員長名で公示する。また、2023年春の役員会及び細胞検査士会報に当選者を報告し、選挙管理委員長名で当選証書を発行する。

【異議の申し立て】

当選者の公示後約 5 日の間に選挙管理委員長宛の文書で受付け、その対応は選挙管理委員会で決定する。